

戦争が変える国際安全保障と経済 —歐州から北極へ広がる戦略空間—



開催日時 | 2026年2月9日(月) 13:30-17:30

ロシア・ウクライナ戦争と国際安全保障 13:30-15:10

第1部 小泉悠(東京大学)「北極点から見るロシア・ウクライナ戦争」

プログラム 鶴岡路人(慶應義塾大学)「NATOは何が変わったか」

服部倫卓(北海道大学)「戦争を支える経済、戦争に耐える経済」

新たな地政学・地経学の焦点としての北極 15:20-17:30

大西富士夫(北海道大学)「三正面化する北極域の安全保障環境」

原田大輔(JOGMEC)「ウクライナ戦争の背後で動く米露北極エネルギー協力」

大塚夏彦(北海道立オホーツク流氷科学センター)「ロシア北方航路のいま」

安達祐子(上智大学)「ロシア北極政策のキープレイヤーとしてのロスアトム」

形式 | 対面とオンラインのハイブリッド *いずれも下記から事前のお申し込みが必要です

対面参加 | <https://forms.gle/aezaccN7vocZeGD99> (先着100名様)

オンライン | https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ZWBY920XSYKiOFb205OLyw

会場 | 駒場Ⅱキャンパス 先端科学技術研究センター3号館南棟1階ENEOSホール
東京都目黒区駒場4丁目6-1

北極域研究強化プロジェクト(ArCS-3) ガバナンス課題サブ課題「変化する北極域の地域社会の検討」

主催 | 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター「ウクライナ及び隣接地域研究ユニット(URU)」

北海道大学北極域研究センター

東京大学先端科学技術研究センター創発戦略研究オープンラボ(ROLES)

お問い合わせ | 服部倫卓(hattori@slav.hokudai.ac.jp)